

単元末練習問題一覧表（中学校 第1学年）

「全国学力・学習状況調査」の問題と、教科書教材の指導事項が対応した一覧表です。

単元末の練習問題などで、活用できます。

※表の見方

- (1) 見出しの「領域」「学年」「指導事項」は、『中学校学習指導要領 国語編』です。
- (2) 「過去問題」は、「全国学力・学習状況調査」です。平成24年度～平成27年度を示しています。
□囲みの問題は、熊本県の正答率が60%以下のものです。例：A1二…A問題の1の二
- (3) 「教科書教材」は、県内で採択されている教科書について示しています。

東東京書籍 三三省堂 光光村図書

領域	学年	指導事項	過去問題				教科書教材
			H24	H25	H26	H27	
A 話す・聞く	第1学年	ア 日常生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理すること。					東「話し合いで理解を深めよう」 三「スピーチをしよう」 光「友達をみんなに紹介しよう」「話題をとらえて話し合おう」「言葉を探検する」
		イ 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。	B1一			A1一	東「分かりやすく紹介しよう」 三「討論ゲームをしよう」 光「友達をみんなに紹介しよう」「スピーチ名人になろう」「話題をとらえて話し合おう」「言葉を探検する」
		ウ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。	A1二 A4一			A1二	東「分かりやすく紹介しよう」 三「スピーチをしよう」 光「友達をみんなに紹介しよう」「スピーチ名人になろう」
		エ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。			A1二	A8一 A8二	東「聞き取って整理しよう」 三「正確に聞き取ろう」 光「情報を正確に聞き取ろう」「友達をみんなに紹介しよう」「言葉を探検する」
		オ 話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いて、自分の考えをまとめること。	B1三	A1一	A6二		東「話し合いで理解を深めよう」 三「討論ゲームをしよう」 光「流れを踏まえて話し合おう」「話題をとらえて話し合おう」
B 書く	第1学年	ア 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。		B1三			東「図表を使って伝えよう」 三「体験文を書こう」「私のトップニュースを書こう」 光「声を届ける／書き留める／本と出会う／調べる」「わかりやすく説明しよう」「言葉を集めよう」「項目を整理して伝えよう」「調べたことを報告しよう」
		イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。		A7二	A4一		東「図表を使って伝えよう」「案内や報告の文章を書こう」「鑑賞して良さを表現しよう」 三「一枚レポートを書こう」「体験文を書こう」 光「ちょっと立ち止まって」「わかりやすく説明しよう」「項目を整理して伝えよう」「調べたことを報告しよう」
		ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。	B3三	B2三	B2三 B3三	A4一 B1三 B3三	東「根拠を明確にして書こう」 三「一枚レポートを書こう」「体験文を書こう」「鑑賞文を書こう」「未来を見つめる」 光「声を届ける／書き留める／本と出会う／調べる」「シカの『落ち穂拾い』」「故事成語を使って体験文を書こう」「流水とわたしたちの暮らし」「調べたことを報告しよう」「少年の日の思い出」「感じたことを文章にしよう」「言葉を探検する」
		エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。			A4二	A2二	東「小さな発見を詩にしよう」「鑑賞して良さを表現しよう」 三「学校案内リーフレットをつくらう」「未来を見つめる」 光「声を届ける／書き留める／本と出会う／調べる」「調べたことを報告しよう」「感じたことを文章にしよう」
		オ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の用い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりすること。				A2一	東「根拠を明確にして書こう」 三「鑑賞文を書こう」「私のトップニュースを書こう」「『故事成語』を使って書こう」「せりふと書き」 光「少年の日の思い出」「言葉を探検する」
C 読む	第1学年	ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。	B2一	A5一	A3二		東「風の五線譜」「話し方はどうかな」「詩の心-発見の喜び」「月夜の浜辺」「脳の働きを目で見てみよう」「木」 三「ユニバーサルな心を目指して」 光「にじの見える橋」「ダイコンは大きな根？」「はじめての詩」「星の花が降るころに」「蓬萊の玉の枝」「今に生きる言葉」
		イ 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。	A6一	A5二	B2一	A6一 B2一 二	東「オオカミを見る目」「脳の働きを目で見てみよう」 三「信頼をつなぐ」 光「ダイコンは大きな根？」「ちょっと立ち止まって」「シカの『落ち穂拾い』」「流水とわたしたちの暮らし」
		ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。	A3一 B3一	A2一 B2一	A3一	A3二	東「遠い山脈」「さんちき」「少年の日の思い出」 三「空中ブランコ乗りのキキ」「タオル」 光「にじの見える橋」「星の花が降るころに」「大人になれなかった弟たちに…」「少年の日の思い出」
		エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。	B3一	A4一 B1一 B2一 B3一		A6二 B3一	東「オオカミを見る目」「少年の日の思い出」「トロッコ」 三「水田のしくみを探る」「夕焼け・いるか・雨ニモマケズ」 光「野原はうたう」「ちょっと立ち止まって」「星の花が降るころに」「大人になれなかった弟たちに…」「シカの『落ち穂拾い』」「蓬萊の玉の枝」「少年の日の思い出」
		オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げること。		B2三			東「詩の心-発見の喜び」「遠い山脈」「さんちき」「脳の働きを目で見てみよう」「ニュースの見方を考えよう」「木」 三「この小さな地球の上で」「トロッコ」 光「はじめての詩」「大人になれなかった弟たちに…」「七夕に思う」「少年の日の思い出」「木は旅が好き」
		カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。		A4二 B1三 B3二	B2一 B3一		東「碑」「コンビニ弁当十六万キロの旅」「ニュースの見方を考えよう」 三「食感のオノマトペ」 光「声を届ける／書き留める／本と出会う／調べる」「おいしい読書」「情報コラム①②」「雪とパイナップル」「江戸からのメッセージ」「読書案内」

【中学校 第1学年】

領域	学年	指導事項	過去問題				教科書教材
			H24	H25	H26	H27	
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	第1学年	(1)ア(ア) 文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れること。	A7七 2	A8七 2	A8五 1		東「伊曾保物語」「竹取物語」「矛盾」 三「声に出して、さまざまな作品を読もう」「『故事成語』を使って書こう」 光「音楽を楽しもう」「蓬萊の玉の枝」「今に生きる言葉」
		(1)ア(イ) 古典には様々な種類の作品があることを知ること。				A9七 2	東「さまざまな古典作品を知ろう」「伊曾保物語」 三「竹取物語」 光「七夕に思う」「今に生きる言葉」
		(1)イ(ア) 音声の動きや仕組みについて関心をもち、理解を深めること。					東「音声の動きや仕組み」 三「音声のしくみとはたらき」 光「友達をみんなに紹介しよう」
		(1)イ(イ) 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨くこと。	A7三 アイ エオ A7八 2				東「語の意味と文脈」 三「文脈上の意味と用法」 光「言葉を集めよう」
		(1)イ(ウ) 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと。		A8三 イエオ カ	A8三 アイエ カキ	A9三 アイエ オ	東「語の意味と文脈」 三「類義語辞典の活用」「言葉の単位・文節の関係」 光「言葉を集めよう」
		(1)イ(エ) 単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意すること。				A9四 ①②	東「文法とは・言葉の単位」「文の成分・連文節」「単語の分類」「つなぐ言葉・指し示す言葉」「名詞」「連体詞・副詞・接続詞」 三「接続語・指示語」「単語の類別・品詞」 光「言葉2」「文法への扉3」「①言葉の単位②文の組み立て③単語の分類」
		(1)イ(オ) 比喻や反復などの表現の技法について理解すること。	A3二	A8七 1	B1一 B1三	A3一	東「小さな発見を詩にしよう」 三「効果的な表現方法」 光「言葉3」
		(1)ウ(ア) 小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表(以下「学年別漢字配当表」という。)に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むこと。	A7八 1				東「漢和辞典の使い方」「活字と書き文字・画数・筆順」「音読み・訓読み」「漢字の部首」「漢字の成り立ち」「新しい常用漢字」 三「漢字の字体・画数・筆順」「漢字の部首と成り立ち」「漢字の音と訓」 光「漢字1」「漢字2」「漢字3」「漢字の練習」
		(1)ウ(イ) 学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。	A7六 2				東「漢和辞典の使い方」「音読み・訓読み」「漢字の部首」「漢字の成り立ち」「新しい常用漢字」 三「漢字を使いこなそう」「漢字を身につけよう」「漢字の部首と成り立ち」「漢字の音と訓」 光「小学校六年生で学習した漢字」「小学校六年生で学習した漢字の一覧」